



2018年  
**みやま**

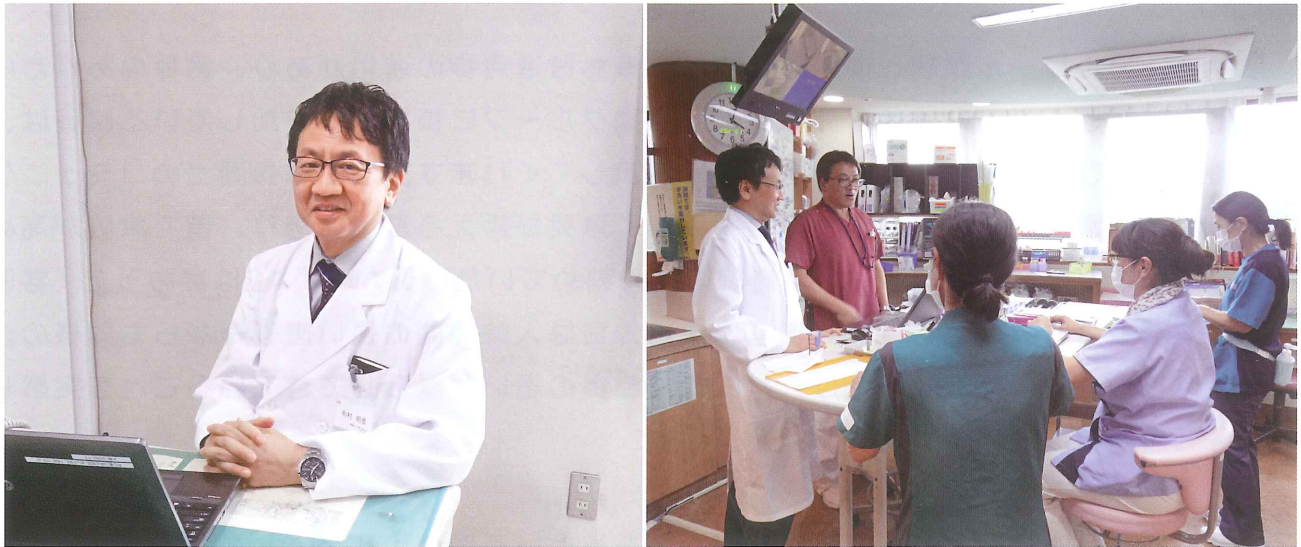
第244号

**病院理念**  
『患者さまの不安をとること』  
当院の基本方針  
「地域に根ざした安心できる医療」  
「精神科医療の充実」  
「老人医療」医療と福祉の結合

病院目標『時代が求める価値ある病院づくり』～ネットをつなごう医療の和～

医療法人社団 光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/> 〔e-mail〕 [hhsp1966@violin.ocn.ne.jp](mailto:hhsp1966@violin.ocn.ne.jp)



布村明彦先生 【左】診察室にて 【右】認知症治療病棟「アネックス病棟」ナースステーションにて

## 東京慈恵会医科大学精神医学講座の布村明彦准教授が 毎週火曜日に非常勤医師として赴任されました

アルツハイマー病は、進行性に時間をかけて神経細胞が壊死していく病気ですが、その発症原因は未だ不明で、アミロイド仮説に基づきアミロイドベータやタウ蛋白という物質の研究が盛んに行われています。布村先生はこのような現象のさらに上流に何か原因があるのではないかと、アルツハイマー病および関連疾患の剖検脳標本を用いて、変性部位の神経細胞内に顕著な酸化傷害 (Oxidative Damage) が認められること、とくに酸化RNAが変性の早期段階から認められることを学会発表されてこられました。最近、たいへん注目されているmicroRNAの発現に酸化ストレスがどのように影響するか検討することにより、神経変性メカニズムの解明にも取り組んでおられます。もちろん、臨床的にも多くの経験を積まれており、今後、東京慈恵会医科大学でのメモリーセンター開設にも中心にかかわっていかれると思います。是非、当院の認知症疾患医療センターとしても、機能向上するようご指導いただけるよう期待します。毎週火曜日に勤務されますが、まずは午前中の認知症外来、午後の病棟ケース相談から始めていただこうと思います。どうかご期待ください。

院長 平川 淳一

【表紙】院長挨拶【P2】病棟たより(A2病棟)【P3】事務室から【P4】地域生活支援科より【P5】退院時アンケートの集計【P6・7】心理のお仕事【P8】文化祭のお知らせ・認定理学療法士試験に合格しました

## 入職二年目をむかえて

患者様、御家族様、または、入職をする職員の方は、アルコール病棟とはどんなところだろう、どんな治療をするのだろう、と感じるのではないのでしょうか。A2病棟は、アルコール問題に対し、身体的な治療だけでなく、退院後の生活のなかでアルコールとどのように向き合っていくかを考えられる場となっています。

依存症、アルコール問題との関わり方、治療も日進月歩の進化があり、病棟のあり方にも変化が必要とされています。外部講習や自助グループに積極的に参加している職員は、得た情報や学びを惜しみなく病棟会などで開示してくれます。また職員同士のコミュニケーションも円滑で、年齢、キャリアに関係なく意見が言える環境にあり、皆で意識が高めあえる病棟だと感じています。平川病院に長く勤めていた職員から「A2は変わった（雰囲気はよくなった）」と時折耳にします。また先日は入院期間の長い患者様からも同様の話しを聞きました。新たな風を受け入れてきた職員の思いが浸透してきていることを実感し私自身刺激を受けています。

私事ながら、昨年度新卒者として入職し、あっという間の1年半でしたが、先輩方に支えていただき本日を迎えることができます。外国からの入職者（看護師）に新たな流れを感じると共に、謙虚で勤勉な姿に感心し、昨年度の新人として至らなかった自分を恥ずかしく思い、反省していることも私なりの変化です。



院長とA2病棟スタッフ（筆者：前列左）

教えていただくばかりで受身の一年でしたが、本年度の新入職者も入り、甘えていてばかりではいけないと感じております。A2病棟はアルコール患者様だけでなく、様々な合併症患者も多数入院しています。治療や対応が多様化するなか柔軟な看護が出来る看護師を目指して行きたいと思います。

A2病棟 看護師 志賀 有為

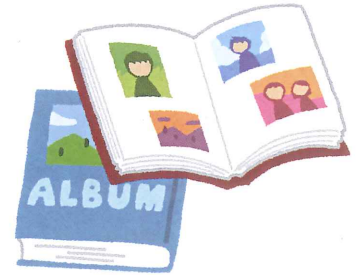


## 法人室の夏

事務室から

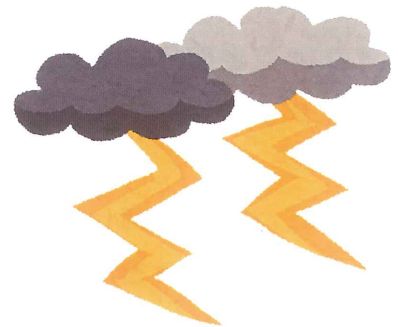
私たち“法人”と呼ばれている部署は給与係と秘書の2名が在籍しています。

最近、執務室（法人室）の場所が変わり、引越しを機にいろいろな所を片付けました。その際、古い病棟の写真など病院の歴史を感じるものが出てきました。十数年勤務している私でも見たことのない職員や退職された職員の若い頃の姿が映っていて、今はどうしていらっしゃるんだろうと思いを馳せました。



また、新しい部屋に引っ越した途端、なんとトカゲが紛れ込んできました。平川病院に勤務して以来、ヤモリを窓の外に見つけたことはありますが、トカゲが室内にいたのは初のことです。法人室は6階にあるのですが、なんで!?!という感じです。施設科の方をお願いをして捕獲してもらい外に逃がしてもらいました。捕獲の際に旧法人室に逃げ込んでしまったので一旦捕獲をあきらめたのですが、暑かったのかクーラーの効いた新しい部屋にやってきました。すばしっこくて捕まえるのが大変でしたが、片付け中のダンボールの下に隠れていたところを捕まえることができました。トカゲも暑さには負けるんだね、と笑い話になりました。

さらに、今年の夏は各地でゲリラ豪雨の被害が報告されていましたが、先日八王子でも激しい雷が鳴りました。当院でも落雷により電話が故障したり、クーラーが故障したりと被害が出ました。相当激しかったので外の様子を見ようと廊下に出たところ、近くに落ちたのか、稲光が廊下に差し込みました。これも平川病院に勤務して初の体験でした。



今年の夏はいろいろなことが起こり、はじめて体験することも多かったですが、来年は落ち着いた夏になるといいな、と思っています。

事務部 総務課（法人室） 秘書 天野 麻裕子

## アルコールデイケアにおける院内就労

地域生活支援科より

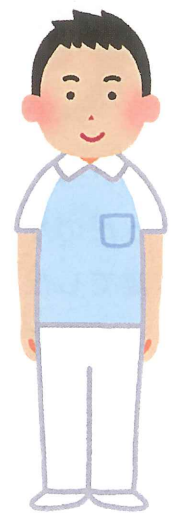
アルコールデイケアでは、1年以上の断酒継続と身体的な回復、メンバーご本人の就労への意欲や必要性を考慮した上で就労を勧めています。

しかし、アルコール依存症の場合、一杯の飲酒や就労に伴う歓送迎会などの機会飲酒から再飲酒となり、再びアルコール関連問題を引き起こす危険性も高く、一般的な精神疾患の患者様のように障害者就労や作業所の利用の受け入れ先がなく非常に困難です。

そのため、現在就労に就いているメンバーもアルコール依存症であることを非公開にしている方が殆どです。また、すぐに正社員やフルタイムの仕事に就いた場合も、仕事に関するストレスや、対人関係、または達成感さえも一杯の飲酒に繋がってしまうことも少なくありません。

そこで、当院では看護部の協力もあり、院内でのアルコールデイケアメンバーの就労をスタートしました。週3回午前中のみの時間で、デイケアを併用し、ケアワーカー補助として病棟内の清掃や環境整備、シーツ交換が主な仕事です。

当初は就労継続が困難となったこともあり、その際の問題点をデイケアスタッフで振り返り対応策を練りました。現在は就労が始まって暫くは、デイケアスタッフが付き添い、仕事の内容や身体的な注意点、各病棟の特徴に応じた対応の仕方などを病棟スタッフの意向も確認しながら、メンバーと調整を重ねていきました。その後も、各病棟スタッフとデイケアで定期的に連絡を取り合い、身体的・精神的に気になった点など意見交換をしています。



以下に、現在継続して院内で就労しているメンバーの感想を紹介します。

「病棟の指導者をはじめ職員の方々が、とても親切に丁寧に接していただき対人関係でのストレスが無く、感謝しています」

「生活リズムも整うし、やはり、やりがいがある。仕事をすることは大切ですね」

「以前やっていた仕事に戻ろうかとも思ったけれど、まだ、身体も依存症についても自身がなかった。デイケアも利用しながら、安心して働ける環境で良かった」

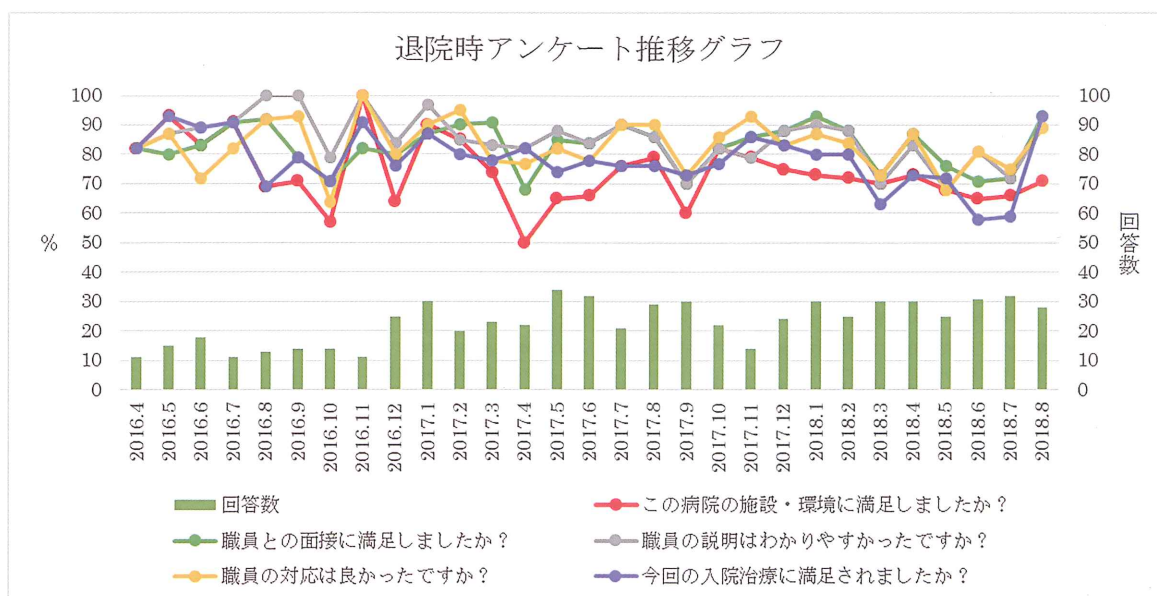
「今何をすればいいか考え、自主的に動けるようになった」

「患者様の看取りの場もあった。家族や自分自身を振り返り考える良い機会となった」

アルコールデイケア 看護師 宮崎 由記

## 退院時アンケートの集計

平川病院では、退院される患者様にアンケートのご協力をいただき、その集計結果を毎月検討しております。今回、アンケートの「この病院の施設・環境に満足しましたか。」「職員との面接に満足しましたか。」「職員の説明はわかりやすかったですか。」「職員の対応は良かったですか。」「今回の入院治療に満足されましたか」の5項目について、直近2年（2016年4月～2018年8月まで）のデータをグラフ化しました。



※折れ線グラフはアンケートにて「はい」と回答いただいたパーセント、棒グラフは有効回答数を示す。

その結果、職員との面接や対応、環境設備、インフォームド・コンセント、入院治療全体への評価について、回答された大方の患者様より“満足である”との回答をいただいております。また、患者様の声をできるだけ入院治療に反映できるよう、アンケートへのご協力をいただきました結果、2017年以降は有効回答数を大きく増加させることができました。患者様とご家族様に御礼を申し上げます。

ただ、上記アンケート項目について月ごとの推移を見ると、満足度が低下している項目があります。特に「この病院の施設・環境に満足しましたか（赤）」の回答は、波はあるものの、他のアンケート項目より「はい」と回答いただいたパーセンテージが低く推移しています。職員の対応等ソフト面の質の向上に今後も取り組むことはもちろん、環境・設備等ハード面の課題を整えていくことに関しても、今後検討すべき項目であると考えております。直近の8月につきましては大幅に患者様の満足度全般が上昇しています。これに関しても慢心せず、どのような要因が患者様の満足につながったか現場職員との対話を密にし、詳細に検討していきたいと考えております。

精神科医療の特性上、全ての患者様に満足していただくことは難しいかもしれませんが。しかし、患者様の満足感が医療の質の一側面を担っていることは確かです。アンケートを含め、引き続き患者様やご家族様からのご協力とご意見を頂戴しながら、我々の提供する医療についての説明と合意をより丁寧に行い、患者様の満足を伴う高度な医療の提供を目指してまいります。何かございましたら、外来や病棟に設置しております意見箱に、ぜひご意見を頂戴できれば幸いです。

医療の質向上促進委員会



## 心理のお仕事 ～その2. 心理療法（カウンセリング）とは～

# 心

今回は、心理療法とはどういうものかについてお話したいと思います。わかりやすくお伝えするために、臨床心理士とはどういう人なのかということを含めて、よくある質問をQ&Aの形で次にあげてみましょう。

Q. 臨床心理士と精神科医はどう違うのですか？ スクールカウンセラーとの違いは？

A. 臨床心理士は心理学を用いて援助をし、精神科医は精神医学を用いて治療を行います。大変わかりやすいところと言えば、精神科医はお薬を処方することができますが、臨床心理士はお薬を処方することはできません。そして、精神科医は症状の除去や軽減等を行いながら病気の治療をするのが仕事ですが、臨床心理士は病気にかかった人や障害をもっている人、困っている人の心（感情、行動、認知）を支援することが仕事の中心です。クライアント（相談者）が家族や職場の人、関係者との良好な関係を築きやすくな



ったり、結果として症状が軽減したりすることがあります。スクールカウンセラーとは、資格の名前ではなく仕事の種類です。精神科医や大学教授もスクールカウンセラーの仕事に就くことができます。ただ、東京都のスクールカウンセラーはほとんどが臨床心理士の資格をもっています。

Q. 心理療法ってなんですか？ カウンセリングとは違うのですか？

A. 心理療法とは、心理学の知識や技法を使った計画的な心理支援です。パーソナリティ（人格）を再構成、変化させることと言われることもあります。医療機関における心理カウンセリングと心理療法はほぼ同じものと考えてもよいでしょう。個別の心理療法はどれ一つにとって同じものはなく、完全にオーダーメイドで行われます。



Q. 心理療法を受けたら苦しさをなくしてもらえるのでしょうか？ 私に向いてますか？

A. これは非常に難しい質問です。話すことで自分の考えを整理できますし、面接者に支えてもらえる体験もあることでしょう。ただ、自分のよいところも悪いところも見えてくるので、答えとしては、楽にはなるが全く苦しくなくなるわけではないといえるでしょうか。そして、心理療法は相談者側から積極的に関わることが求められます。心理療法は体質改善のようなものだと考えてもらえると良いでしょう。体質を改善するためには、自分でも様々な努力（生活習慣を整えたり、食事や運動に気をつけたり）をする必要があります。同じように、心理療法も自分で自分の心のありかた（感情、行動、認知）に向き合おうという努力が必要なのです。自分で自分の心の問題や悩みを解決したいと考えている人に向いているといえるでしょう。



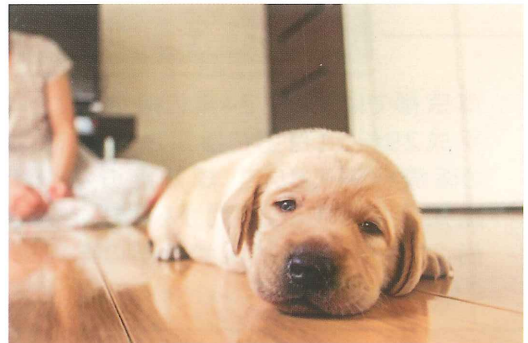
は、自分でも様々な努力（生活習慣を整えたり、食事や運動に気をつけたり）をする必要があります。同じように、心理療法も自分で自分の心のありかた（感情、行動、認知）に向き合おうという努力が必要なのです。自分で自分の心の問題や悩みを解決したいと考えている人に向いているといえるでしょう。

Q. 心理療法ってどうやったら受けられるのですか？

A. 当院では、まずご希望を医師にお伝え下さい。医師が心理療法的なアプローチが患者さんの病状にとって良いかどうかを判断します。その後、医師の指示・依頼が臨床心理士にあって初めて行われます。ただし、一旦開始された後の心理学的支援の方向性や中止、終了のご希望に関しては、その話し合い自体が心理療法としての意味合いを持ちます。例えば、「やめたい」と思った理由が自分の問題の核心に迫ったためであることに、自分自身で気づいていないことがあったりするのです。そのため、まず担当の臨床心理士と「やめたい」こと、ご希望や問題についてしっかりと話し合うようにしましょう。心理療法を終了する場合も、数回の面接を経てから終わることが望ましいです。

Q. どれくらいの頻度で、どのくらいの期間受けたいのでしょうか？

A. 週1回の頻度で行う方が多いですが、相談者それぞれで違います。期間は2~3ヶ月だけという人もいれば、年単位で行うべき人もいます。心理療法は基本的に相談者ご本人がどのようにになりたいのかということを重視します。それに合わせて、どこまでを心理療法のゴールとして考えればよいかが変わってきますので、あらかじめ期間を決めることは難しいのです。



心理療法科 臨床心理士 畦地 良平



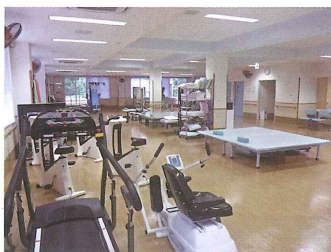
## TOPICS! 第23回 平川病院 文化祭のご案内

- 【1日目】平成30年10月12日（金）13:30～15:00 ※一般の方はご参加頂けません  
 会場：東館 6階ホール 内容：デイケアコーラス、「吉野みずほ」さんのコンサート
- 【2日目】平成30年10月13日（土）10:30～14:30 ※一般の方もご参加頂けます。ご家族様、  
 近隣の皆様のご来場をお待ちしております！  
 会場：職員専用駐車場  
 内容：バザー、模擬店、体験コーナー、工芸絵画作品展示、作業所販売コーナーなど

## TOPICS! 認定理学療法士試験に合格しました

日本理学療法士協会には認定理学療法士という認定資格制度があります。認定理学療法士には種類があり、今回私が合格した認定資格は『運動器』というものになります。リハ科に「運動器の認定資格をもった理学療法士がいる」と理解して頂けると幸いです。

現在、日本理学療法士協会に所属している会員は約11.5万人おり、うち認定理学療法士の取得者は4千人程度で取得率は3.5%程度とまだまだ取得者の少ない資格です。認定資格に合格したからといっていきなり力がつくわけでもありません。当科には認定資格を持っていない優秀なスタッフも沢山います。資格をとったから終わりではなく、ここからさらに知識や技術を磨き専門性を高めていかなければならないと感じています。



平川病院で取り組んでいる精神科病院における身体リハビリテーションは日本中を見てもまだまだ珍しく、とても価値の高い取り組みだと思います。その中で少しでも患者様の要望にえられるようこれからも日々努力して行きたいと思っています。

リハビリテーション科 主任 濱田 賢二

訂正のお知らせ：8月号表紙掲載の「盆踊り大会」の説明に誤りがございました。【誤】第32回→【正】第23回

### 当院は南多摩医療圏の地域拠点型認知症疾患医療センターです

東京都では、平成24年に指定された「地域拠点型認知症疾患医療センター」12カ所（当院含む）と平成29年11月迄に指定されている「地域連携型認知症疾患医療センター」40カ所、合わせて52カ所の医療機関において、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めています。認知症に関するご質問がありましたら、各地域のセンターまでお問い合わせ下さい。尚、センター指定状況や役割の詳細等については、東京都公式ウェブサイト『とうきょう認知症ナビ』でご確認いただけます。

とうきょう認知症ナビ  検索

#### 編集後記

気温などで30年に一度の記録が更新があった場合、気象庁は「異常気象」と認定することによって今年も、「異常気象」であった。特に6月の梅雨明けからの猛暑は、「夏の太平洋高気圧の上に大陸のチベット高気圧がフタをして……？」気象に興味がない人に取っては何のことか。また気象の専門家は、最高気温より東京の夜の最低気温が30度を切らなかったことの方が驚異だという。25度を下回らないのを熱帯夜、28度の場合は「地獄夜」、30度は「スーパー地獄夜」と表現するらしい。秋の訪れが予想より早かったことが、せめてもの救いであった。

#### 医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076  
 電話 042-651-3131  
 FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします  
 kouhou@hsp1966.jp

HIRAKAWA  
 HOSPITAL

